



2026 年 8 月 4 日

各 位

会 社 名 ヤマハ発動機株式会社
代表者名 代表取締役社長 設楽 元文
(証券コード 7272 東証 プライム)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 中谷 歩
(TEL. 0538-37-0134)

2026年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 8 月 4 日開催の取締役会において、以下のとおり、最新の業績の動向等を踏まえ、2026 年 2 月 13 日に公表しました 2026 年 12 月期(2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)の連結業績予想の修正を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想の修正(2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

	売上収益	営業利益	親会社の 所有者に帰属する 当期利益	基本的 1 株 当たり当期利益
前回予想 (A) (2026 年 2 月 13 日発表)	百万円 2,700,000	百万円 180,000	百万円 100,000	円 銭 103.05
今回修正予想 (B)	2,900,000	260,000	170,000	175.16
増減額 (B-A)	200,000	80,000	70,000	
増減率 (%)	+7.4%	+44.4%	+70.0%	
(ご参考)前期実績 2025 年 12 月期	2,534,203	126,373	16,109	16.59

2. 修正の理由

2026 年 12 月期第 2 四半期(中間期)連結会計期間の業績につきましては、新興国を中心に MC 事業の販売台数が増加したことに加え、米国における相互関税の還付、為替の円安進行などにより、売上収益、営業利益ともに当初の想定を上回る結果となりました。

2026 年 12 月期通期の連結業績予想につきましては、中東情勢に伴う原材料コスト上昇や OLV 事業の構造改革に伴う一過性費用はあるものの、上記の業績進捗に加え、年間を通じて米国追加関税の影響が期初想定を下回る見通しであることや、コスト削減施策の効果を織り込み、当初計画を上回る売上収益および利益を見込んでおります。これらを踏まえ、今後の事業環境の見通しなどを総合的に勘案し、上記のとおり通期連結業績予想を修正します。

通期の為替換算レートは、米ドル 159 円(当初予想比 4 円の円安、前年同期比 9 円の円安)、ユーロ 182 円(当初予想比 7 円の円安、前年同期比 13 円の円安)を前提としています。

なお、年間配当予想につきましては、変更ございません。

以上